

## 令和元年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

I 自己評価		岐阜県立大垣工業高等学校 全日制	学校番号	27
1 学校教育目標	・誠実にして強くたくましい心と身体をもち、心豊かな人間性と確かな知識・技術を兼ね備え、創造性に富む実践的な産業人の育成を図る。			
2 現状の分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>○工業の専門的な学習に興味を持ち、落ち着いた態度で前向きな学校生活を送っている生徒が極めて多い。</li> <li>○西濃地方唯一の工業高校として、地域のものづくり産業を支える人材を輩出している。地元企業からの信頼も厚く、就職状況は良好である。</li> <li>○資格取得者が多く、就職に対して意欲の高い生徒が多い。求人にも恵まれており、自分の希望する職種に就職しやすい。</li> <li>○部活動やものづくりにおいて、地道によく努力して優れた成果を上げている。</li> <li>▲日本全体の傾向ではあるが、不登校などの教育相談が必要な生徒が増加している。</li> <li>▲卒業後、グローバルに働く生徒が増えていることを踏まえると、基礎学力やコミュニケーション能力が不十分な生徒がいる。</li> </ul>			
3 学校の抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次期学習指導要領の趣旨を具現するための授業改善（ICT機器の効果的かつ積極的な活用）</li> <li>・支援を要する生徒等、個に対応した指導の充実</li> <li>・地域や社会に貢献するとともに、グローバルに活躍できる人材の育成</li> <li>・本校の教育活動の積極的な広報</li> <li>・チーム大工としての組織的な指導力の強化</li> </ul>			
4 今年度の具体的な重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 生徒の学習意欲を高め、確かな力を身に付けさせる教育の推進</li> <li>(2) 生徒に軸足を置いた豊かな人間性を育てる教育の推進</li> <li>(3) 一人一人が帰属意識をもち生涯を見通した進路意識を高揚させる教育の推進</li> <li>(4) 地域に開かれた信頼される学校づくり</li> </ol>			

年度目標			年度末評価		
5 評価項目 領域・分野	6 重点目標の達成に必要な具 体的取組・方策	7 達成度の判断・判定基準あるい は評価指標	8 取組状況・実践内容 評価項 目の達成状況等	9 評価 A～D	10 成果と課題
(1) 学習指導	①授業改善に必要な環境整備、 職員への教育情報の提供など を行う	<b>①</b> 生徒による授業評価の結果 <b>②</b> 生徒・保護者アンケートの回答 <b>③</b> 研究授業・公開授業の教員間評価 <b>④</b> 研究授業・公開授業の実施件数 <b>⑤</b> 生徒・職員アンケートの回答	・ICT機器の整備など、授業 改善に必要な環境整備が整 いつつある	A	・授業に関連する生徒・保護者 アンケートの3年間の推移 において、各教員が熱心に指 導し、授業改善への取組を多 くの生徒が好意的に受け止 めている状況が見られた
	②ICT機器の効果的かつ積 極的に活用した授業の研究 推進と各教科で定めた目標 の実践を行う		・ICT機器の導入により、各 先生方の授業改善への取組 が向上した	B	・ICT機器の導入により、各 先生方の授業改善への意識 が向上し、いろいろな手法 にチャレンジする様子が見 られた ・研究授業や公開授業を行っ て、さらに授業の相互評価 を行えるような雰囲気づく りが必要である
	③海外インターンシップ、プレ ゼン大会、ESD活動を通し てグローバル人材の育成を 図る		・海外インターンシップの活 用とESD活動の推進を行 った	B	・ESD活動を取り入れた授 業が行えるような、カリキ ュラムマネジメントが必要 である
(2) 生徒指導	①登校指導時の交通安全、身だ しなみの指導	<b>①</b> 前年までの統計との比較 <b>②</b> いじめの早期発見と対処の状況 <b>③</b> 支援生徒の生活改善状況	・MSLによる交通事故防止 などの啓発活動と20分指 導、遅刻指導を確実に行う	B	・風紀委員(MSL)を中心と して『自転車の2重ロック』 運動を行ったことで、自転 車盗難が大幅に減少してい る
	②迷惑調査の実施といじめに 対する早期の組織対応。支援 生徒に対する外部機関との 連携強化		・「いじめ」撲滅のための組織 的対応の推進 ・配慮が必要な生徒について の情報交換の充実	A	・発達障がいと思われる生徒 が起こす種々の問題行動に ついて、職員の理解は進ん でいると思われるが、その 対応については更なる研鑽 を積む必要があり、連携が 一層求められる

5 評価項目 領域・分野	6 重点目標の達成に必要な具 体的取組・方策	7 達成度の判断・判定基準あるい は評価指標	8 取組状況・実践内容 評価項 目の達成状況等	9 評価 A～D	10 成果と課題
(3) 進路指導	①授業中に「授業課題・テスト・ 持ち物等のメモ」を大工未来 手帳に記録させる指導を全 職員で行う	①「大工未来手帳」の活用状況調査 ②基礎力診断テストの結果分析 基礎学力教材の到達度 進路内定率100%へ向けた達 成度	・手帳活用推進を学年会で依 頼したが、職員との協力体制 が不十分で効果が薄かった	C	・「大工未来手帳」を自ら活用 する生徒は増えたが、3年 生に多く1・2年生が少ない
	②基礎学力診断テスト結果に ついて、進路選考(推薦先決 定)に関係することを周知し、 取り組み意欲の向上を促 す		・基礎力診断テストの事前学 習の為の時間確保ができず、 さらに周知不足が窺えた	B	・実力相応の進路選択提案に 一定の効果が見られた ・就職は、1次不合格が3.7% と極めて少なく10月末に は、全員が内定し公務員希 望者も全員合格した
(4) 学校経営	①専門高校生地域連携推進事 業の活用 テクノ・コラボレーション、 地域諸団体との連携(地域イ ベント参加など)、出前授業、 海外インターンシップ	①各行事に参加した生徒の反応と 感想 ②各行事における参加者(地域住民 など)の反応と感想 ③新聞記事などの掲載回数	・専門高校生地域連携推進事業 により、海外インターンシッ プや近隣町との協働が継続 的に実施され、地域との連携 が深化した	A	・将来の少子化(学級減や学科 減)を踏まえた学科の在り 方や教育課程に関する検討 を本格的に行う必要がある
	②教育機関と連携した活動の 推進		・専門高校生地域連携推進事業 西濃地区合同発表会におい て西濃地区の中学生に本校 の魅力や取り組みの紹介 ・出前授業の実施	A	・出前授業の継続実施が定着 し、中学校における活性化 事業実施時に多くの要請を 受けることができた
	③地域や保護者のニーズを踏 まえながら、学校内組織や仕 事の見直し・方法の改善や、 部活動のルールの見直し等 により、教育の質を落とさな い教職員の働き方改革を推 進する		・会議時間の短縮化、事務処理 の効率化(ペーパーレス化)、 行事の削減等により、教職員 の働き方改革が進展した ・教員本来の業務(授業の質の 向上、生徒との交流)に費や せる時間が、従前よりも確保 できるようになった	B	・まだ十分とは言えないので、 今後も継続が必要である
11 総合評価	B				

## 12 来年度に向けての改善方策(案※) ※次年度の学校経営計画(高等学校版マニフェスト)の案

## 1 生徒の学習意欲を高め、確かな力を身に付けさせる教育の推進

- ① ICT機器による効果的な授業をさらに推進し、各教科における重点的な取組の実現に向けて、環境整備や教育情報提供などの支援を行う
- ② 海外インターンシップの活用とESD活動のさらなる活性化に取組、グローバル人材の育成を図る。SDGsに関する取組については、教科横断的に実施できるようなカリキュラムマネジメントを行う
- ③ 5S運動について、学科主任の小集団活動による点検を通して、設備・物品の安全な配置や管理、安全に関する掲示を積極的に推進する

## 2 生徒に軸足を置いた豊かな人間性を育てる教育の推進

- ① 充実した教育相談体制を維持し、生徒情報の共有化を一層進めるとともに、メンタル面が強い生徒を育成できる体制の構築を目指す
- ② 特別な支援を要する生徒について、職員研修により理解を深めるとともに、ケース会議の開催や、外部の専門家の活用、個別の教育支援計画の迅速な作成及び適切な実施などにより、個に応じた指導を行う

## 3 一人一人が帰属意識をもち生涯を見通した進路意識を高揚させる教育の推進

- ① 「キャリアパスポート」の導入推進に対して、「大工未来手帳」＝「キャリアパスポート」となるように必要性の高いものに工夫・改良して、社会人基礎力の育成に繋げることを目指す
- ② 基礎学力診断テスト実施前の関係学科による授業内指導の協力依頼と生徒への基礎学力の必要性をいろいろな機会を通して広報することで生徒の意識高揚を図る

## 4 地域に開かれた信頼される学校づくり

- ① 大垣市や地元の企業・教育機関等と連携を今後も継続し、地域産業のニーズに応じた実践力と協調性のある人材を育成する。
- ② 出前授業やものづくり体験等の企画運営を通して、地域や小中学校の児童生徒・保護者の工業教育への興味関心を高める

## II 学校関係者評価

令和2年1月29日

- 1 学習指導(生徒の学習意欲を高め、確かな力を身に付けさせる教育の推進)
  - ・プレゼンテーションの目的を理解して、見る人に伝えるという事がしっかり日常的に教育されている。
  - ・ICT化が進み、求められる技術も急速に変化すると思われる。労働力の減少やグローバル化が進み、必然的に実践的な産業人の姿は大きく変化する。今後はモノをつくる技術だけではなく、発表や資料をまとめるという力が就職してからも必要になってくる。何のための勉強か、何のためのプレゼンテーションか、目的意識をしっかりと教育し、変化に対応できるようにして欲しい。
  - ・学校の特色ある教育の中で、資格取得指導を継続して頂きたい。
- 2 生徒指導(生徒に軸足を置いた豊かな人間性を育てる教育の推進)
  - ・今の社会は誰でも自由に意見を言える風潮があり、学校も対応に苦勞されているのではないかと思う。コミュニケーション能力の不足が感じられる中で子ども達の自己肯定感を積極的に伸ばしてもらうために、校則の見直しや行事などを含め、生徒たちの意見を聞きながら対応すべきだと感じている。
  - ・生徒たちはしっかり内容を理解して生徒指導を受けている。地域や企業で活躍できる生徒であってほしいと思っておりますので、引き続き指導をお願いします。
- 3 進路指導(一人一人が帰属意識をもち生涯を見通した進路意識を高揚させる教育の推進)
  - ・就職後のミスマッチや早期離職を避けるために、生徒の精神的な強さと「目標管理や自己管理能力」を高めるような指導が必要。
  - ・基礎学力向上に関する取組を継続していただきたい。
- 4 地域に開かれた信頼される学校づくり。
  - ・地域のイベントで接した生徒さんは、お客さんたちと非常によい雰囲気でお話していた。すごく好感が持てる対応をしていて、教育が行き届いていると思った。放送部の女子生徒さんにイベントの司会を主催者側として依頼した。すごく好感が持てる対応をしていただき助かりました。
  - ・地元自治体や地元企業との連携を深め、生徒に社会貢献や地域貢献を体験させる活動を今後も継続して欲しい。